

## 指導事例 7 保健体育 学習課題に応じた運動の工夫を促す 第2学年「球技（ベースボール型ゲーム・ソフトボール）」

### 【単元の構成について】

単元の導入では、取り扱う内容の特性や歴史的な背景等について説明し、生徒がそれらを踏まえて、自分の目標を立てる「要素Ⅰ」を行い、技能を高める段階では、目標やチームの状況に応じて、「要素Ⅱ」を通して練習方法を選択する。また、練習では、助言やアドバイス「要素Ⅲ」を通して互いの技能を高められるようにする。また、授業の終わりには、チームミーティングを行い、取組を振り返らせる。振り返り考えた「要素Ⅳ」を次時の練習方法や作戦に活かせるようにする。また、単元を通して運動量を適切に確保する。

### 1 単元の目標

- ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防展開する。
- ・積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする。
- ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取組方を工夫できるようにする。

### 2 単元の評価規準

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとすることができるようになるとともに、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取組方を工夫している。	球技の特質に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。	球技の特質や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。

※ 言語活動の評価の観点は、「思考・判断・表現」を中心とする。

### 3 単元の指導計画（全 10 時間）

次	時	学習活動	言語活動に関する 指導上の留意点	評価の観点
第1次	第1時	○単元を通じた学習やソフトボールの特性について知る。(オリエンテーション) ○ボール操作をする。 ※本時のねらい等の振り返りをする。(毎時間実施)	・取り扱う内容の特性をつかませ、自分の目標を立てさせる。	運動への関心・意欲・態度
	第2時	○ボール操作をする。	・適切な話し合いで技術的な課題などの関わり方を学ばせる。 ・基本的な操作について互いに助言させる。	運動についての知識・理解 運動についての思考・判断 運動の技能
第3時	○基本的なバット操作をする。	運動への関心・意欲・態度 運動の技能		
第4時	○基本的なバット操作をする。	・分担した役割を果たす意義を理解させる。		運動への関心・意欲・態度 運動の技能
第2次	第5時		○打たれたときのボールの送球と捕球をする。 ○ポジションの役割に応じたカバーをする。	・自己のチームの課題に合った練習を選択させ、また練習方法の工夫をさせる。
	第6時	○打たれたときのボールの送球と捕球をする。 ○ポジションの役割に応じたカバーをする。	運動への関心・意欲・態度 運動の技能	
	第7時	○チーム練習を行う。 ○簡単なルール・条件付きでの試合を行う。	・自己のチームや相手チームに応じた作戦や戦術を話し合う。	運動についての思考・判断 運動の技能
	第8時(本時)	○チーム練習を行う。 ○簡単なルール・条件付きでの試合を行う。		運動への関心・意欲・態度 運動についての思考・判断
第3次	第9時	○正式なルールに近付けた試合を行う。 (リーグ戦)	・自己のチームや相手にチームに応じた作戦や戦術を話し合わせる。	運動の技能 運動についての知識・理解
	第10時			運動への関心・意欲・態度 運動についての思考・判断

※ 網掛けは、「思考・判断・表現」に関わる「言語活動に関する指導上の留意点」とする。

4 本時の学習（第8時）

**【本時における言語活動】**  
 「要素Ⅰ 自己の思考」…チームの課題に合った練習について自分の考えをもつ。  
 「要素Ⅱ 伝え合い」…前時の授業における活動を振り返り、チームの課題とそれに合った練習方法を選択する。  
 「要素Ⅲ 思考のまとめ」…練習と試合を実践に取り入れ、その内容を踏まえ、自分とチームの活動を振り返る。

(1) ねらい

- ・提供された練習方法から自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶ。
- ・練習した内容を試合に生かす。

(2) 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点〔評価〕評価規準【観点】(評価方法)
導 入	1 本時のねらいや留意点について確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">守備の連携を高めよう</div> <p><b>要素Ⅰ 自己の思考</b>  <b>要素Ⅱ 伝え合い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の授業を振り返り、課題に合った練習方法を話し合っ て選択し、振り返りカードに記入する。</li> <li>・各チームで準備運動を行う。</li> </ul>	◇指導上の留意点〔評価〕評価規準【観点】(評価方法) ◇移動黒板にめあてや、活動の流れ、練習する場所などを提示し、生徒が見通しをもてるようにする。  ◇タイブレーカーゲームの方法について確認する。 <b>基盤：学習情報の獲得 基本的事項の理解</b> ◇前回までの学習したことを確認し、練習方法の選択に生かすようにさせる。 〔評価〕⇒ チームの課題に合った練習方法を選択している。 【運動についての思考・判断】 (振り返りカード)
展 開	2 チーム練習を行う。 <b>要素Ⅱ 伝え合い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いのプレイについて助言し合っ て練習する。</li> <li>・各チームで選択した課題に応じた練習を行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">                     〈校庭〉   </div> 3 タイブレーカーゲームを行う。 <b>要素Ⅱ 伝え合い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いのプレイについて助言し合っ てゲームをする。</li> <li>・ノーアウト2塁からゲームを始める。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">                     〈校庭〉   </div>	<b>基盤：学習情報の獲得</b> ◇これまでの練習やゲームを基に、習得した技能を想起して助言を行わせる。 ◇チームの課題に対し、効率的・効果的な練習を行う。 ◇場所、時間の使い方など意識させる。 ◇守備の連携が図れるよう声を掛け合わせる。 ◇ノックをするときは、校庭の中央に向かって打つようにさせる。  ◇守備や打撃の攻防をできるだけ多く行えるようにタイブレーカーゲームを取り入れる。 <b>基盤：学習情報の獲得</b> ◇これまでの練習やゲームを基に、習得した技能を想起して助言を行わせる。 ◇守備位置での準備姿勢、ポジションごとの基本的な動きを意識させる。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">                     タイブレーカーゲーム                      ・守備の練習するために、ノーアウト2塁からプレイを始める。                 </div>
ま と め	4 チームミーティングを行う。 <b>要素Ⅲ 思考のまとめ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームミーティングから練習・試合内容について感想等をまとめ、振り返りカードに記入する。</li> </ul>	<b>基盤：学習情報の獲得</b> ◇チーム練習、試合での取組を振り返らせる。 ◇技術的な課題、チームのメンバーの関わり方について振り返りを行わせる。 〔評価〕⇒ 話合いに積極的に参加しようとしている。 【運動への関心・意欲・態度】 (行動観察)

**【活用方法のポイント】**

- ・技能を高めていくには、自分自身の課題を理解し、課題に応じた練習を行う必要がある。チームで話し合っ  
て練習内容を決定することで、チームの課題についても共有化を図り、技能向上の意識をもちながら、工夫をしながら運動をすることにつなげる。
- ・自分の課題をもつ上では、運動の特性やその運動の歴史や背景も理解することが重要であることから、単元の初めに、オリエンテーションを行い、学習内容の見通しを十分にもたせる。